

## 愛する北海道を元気に

比布中学校長 富居充孝

道内のいろいろな自粛要請が解除の方向となり、人の動きが少しずつ盛んになってきているようです。北海道のすばらしさをぜひとも多くの人たちに知ってもらいたいのはやまやまですが、未だに高齢者を中心に感染者が出ており注意が必要です。引き続き油断することなく、感染予防対策を学校はもちろん、普段の生活場面でも心がけていかなければならないと思う毎日です。

ところで、白老町に完成したウポポイ（民族共生象徴空間）の開業が、新型コロナウイルスの関係で二度にわたり延期になっていましたが、いよいよ7月12日に開かれる見通しになりました。アイヌ文化の発信拠点として、また、アイヌを知り、アイヌ文化の復興・発展はもとより、観光や地域振興のけん引役としても期待されています。北海道という地を知る上でも大切な施設になりそうです。私も近いうちにぜひ訪れたいと思います。



50年も前の話になりますが、私が子どものころ住んでいた町では、アイヌ文化に触れる機会が結構あったように記憶しています。アイヌ関連の民芸店があったり、熊が檻の中で飼われていたり、「アイヌモシリ」なるテーマパーク的なものもつくられました。今思うと普通の生活に溶け込んでいたような気がしませんが（当時は幼い子どもで広い視野もなく、あまり深くも考えず過ごしていたので、そう感じるのかもしれない）。

まったく話は変わりますが、先日、新聞に北海道弁（方言）に関するコラムが載っていて、その内容に思わず笑ってしまいました。コラムを読んでいて、「なまら」はあまり使わないなあと思いながらも、「たいした」「いたましい」「ちよす」「なんも」など、意外に共感できる普通に会話で使う（使っていた）言葉が多く、懐かしい気持ちと同じ道民・同胞としての一体感・所属感を勝手に感じました。

また、23日には本校の教職員の研修で、比布の歴史を学ぶ機会がありました。町内在住の中野芳宣さんを講師にお迎えし、裏話を含めて開拓以前から戦後の村づくりについて貴重なお話をうかがいました。講話の後は郷土資料館を案内していただき、現在の比布町の繁栄につながる様々な展示物に触れ、当時の人々の思いを感じることができました。

昨今、暗い話題が多い北海道ですが、ウポポイにしても北海道弁にしても、魅力あふれる北海道を全国に発信し、元気な北海道を取り戻していきたいですし、共にこの地で生きる「北海道人」の団結力で、今の困難な状況を乗り切っていきたいものです。

## 商工会青年部寄贈扇風機

比布町商工会青年部の皆さんから、「新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業で苦しい思いをした子どもたちを励ましたい。これから増す暑さ対策に。」と、新しい扇風機を贈ってくださいました。廊下や教室に設置し、快適に学校生活を送ることができています。



## 防犯教室

コロナ感染防止のため、講師を招いての講演はできませんでしたが、警察署から送っていただいたDVDを視聴し、不審者から身を守るために、自分自身で取り組めることについてや、「危ない場所に近づかない」「どこに・誰と行って・何時ごろ帰ってくるかを家族に伝える」ことも大切であることについて確認しました。

## 花プランター設置(1年生)

1学年の総合的な学習（ふるさと教育）の取組で、プランターへの花の定植と、町内10か所（以下の通り）に設置しました。

- (1)消防署 (2)青少年会館 (3)あそか苑
- (4)図書館 (5)福祉会館 (6)比布町役場
- (7)比布駐在所 (8)改善センター
- (9)比布クリニック (10)比布郵便局



## 7月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	水	
2	木	期末テスト（1日目）
3	金	期末テスト（2日目）
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	職員会議
18	土	参観日
19	日	
20	月	振替休業
21	火	
22	水	貯金日
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
25	土	卓球団体戦大会（上富良野）
26	日	ソフトテニスゴーセン杯（美唄）
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	終業式

## 小中合同あいさつ運動

6月22～26日には小中合同あいさつ運動を実施しました。生徒会や各常任委員が中心となり小学校玄関前に向き、行いました。





